

# SIGGRAPH 風にタイトル下に段抜き画像を配置する文書

shocker

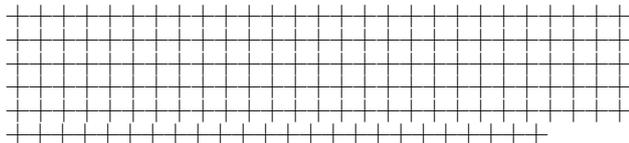
<http://www35.atpages.jp/shocker/memoRANDOM/index.php>


図 1: キャプション。`\date` 内は多分 `begin{figure}` が使えないので、キャプションを付けるには `\captionof{caption out-of-float?}` を使わないといけない。

## 1 概要

この文書は SIGGRAPH の論文のように、1 ページ目のタイトル下に段抜き画像を配置するサンプルとなっています。また、TeX の解り辛い版面パラメーターを隠蔽し、この文書のソース上部にある独自パラメーターで簡単にページの余白を設定できるようにしています。デフォルト状態では左右の余白 19mm、段組み間の余白 7.6mm となっています。ただし、それらパラメーターは日本で一般的に使われている A4 用紙 (21mm×29.7mm) を前提として設定しています。現状では奇数ページ、偶数ページ毎の設定には敢えて対応させていません。

## 2 序論



$$L_o(\mathbf{x}, \vec{\omega}) = L_e(\mathbf{x}, \vec{\omega}) + \int_{S^2} f_s(\mathbf{x}, \vec{\omega}', \vec{\omega}) L_i(\mathbf{x}, \vec{\omega}') |\vec{\omega}' \cdot \vec{n}| d\vec{\omega}' \quad (1)$$

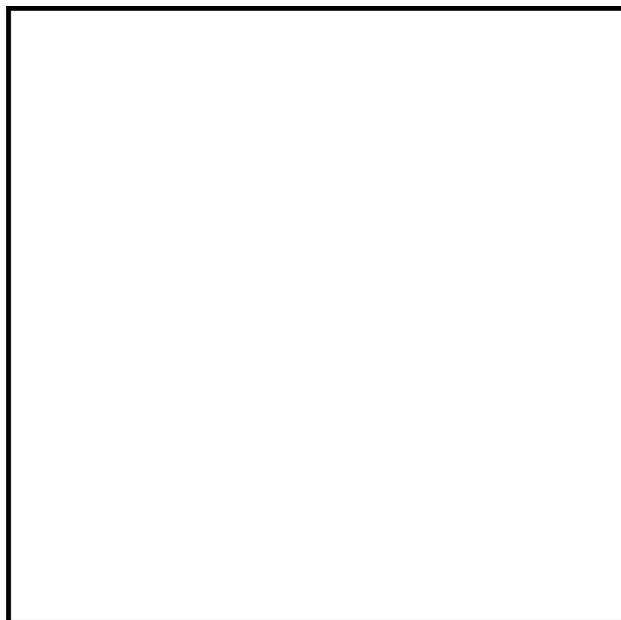
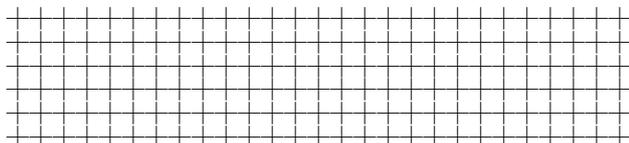


図 2: このキャプションは `\caption` で書かれていますが、文書先頭の図番号と続きます。

